

グループ主要企業一覧

〈株式公開会社〉



イオン九州株
2000年、JASDAQに株式公開。
九州を地盤とする総合小売業。

イオン北海道株
1996年、JASDAQに株式公開。
1998年、東証第2部・札幌に同時上場し、
2000年に東証第1部へ。北海道を地盤と
する総合小売業。



イオンフィナンシャルサービス株
1996年、東証第2部に上場し、1998年に
第1部へ。カード事業を中心に金融サービ
スをグローバルに展開する金融持株会社。

**AEON CREDIT SERVICE
(ASIA) CO., LTD.**

1995年、香港証券取引所に上場。
イオンフィナンシャルサービスの香港現地
法人。

**AEON CREDIT SERVICE
(M) BERHAD**

2007年、マレーシア証券取引所に上場。
イオンフィナンシャルサービスのマレー
シア現地法人。

**AEON THANA SINSAP
(THAILAND) PLC.**

2001年、タイ証券取引所に上場。
イオンフィナンシャルサービスのタイ現地
法人。



イオンモール株

2002年、東証第1部に上場。
多機能複合型商業施設を開発する商業
ディベロッパー。



株サンデー

1995年、JASDAQに株式公開。
青森県を中心に東北を地盤とするホーム
センター。

U.S.M.H

**ユナイテッド・
スーパーマーケット・
ホールディングス株**

2015年、東証第1部に上場。
首都圏を拠点としたスーパーマーケット
である㈱マルエツ、㈱カスミ、マックスバリュ
関東㈱を傘下に持つ共同持株会社。



ミニストップ㈱

1993年、東証第2部に上場し、
1996年に第1部へ。ファストフードを組み
合わせたコンビニエンスストア。



マックスバリュ東海株

2004年、東証第2部に上場。
静岡県を中心に中部・西関東を地盤とする
スーパーマーケット。

マックスバリュ西日本株

1997年、大証第2部に上場。
2013年、市場統合により東証第2部へ。
西日本を地盤とするスーパーマーケット。



イオン㈱

1974年、東証・大証・名証第2部に同時上場し、
1976年に上記の3取引所第1部へ。
2004年より東証のみ上場。
2008年8月に純粋持株会社体制へ移行。



ウエルシア

ホールディングス株

2001年、JASDAQに株式公開し、
2004年、東証第2部に上場。
2008年9月に持株会社体制へ移行。
2012年に東証第1部へ。
調剤併設型ドラッグストア。



株コックス

1990年、JASDAQに株式公開。
カジュアルファッション専門店。



株ジーフット

2000年、前身である㈱ソルヤ靴店が名証
第2部に上場。2015年に東証第1部に上場、
名証第1部へ。足元からのスタイルを提案
する靴専門店。



**AEON Stores (Hong Kong)
Co., Limited**

1994年、香港証券取引所に上場。
香港を代表する総合小売業。

AEON CO. (M) BHD.

1996年、クアラルンプール証券取引所
メインボードに上場。マレーシアを代表する
総合小売業。

純粋持株会社

イオン㈱

GMS(総合スーパー)事業

イオン九州株

イオン北海道株

株サンデー

イオンスーパーセンター㈱

イオンバイク㈱

イオンベーカー㈱

イオンリカー㈱

イオンリテール㈱

イオン琉球㈱

オリジン(東秀)㈱

清水商事㈱

トップバリュコレクション㈱

㈱ボンベルタ

SM(スーパーマーケット)事業

マックスバリュ東海株

マックスバリュ西日本株

ミニストップ株

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株

イオンサザール㈱

イオン東北㈱

イオンビッグ㈱

イオンマーケット㈱

㈱カスミ

㈱光洋

㈱ダイエー

ピオセボン・ジャパン㈱

㈱ビッグ・エー

まいばすけっと㈱

マックスバリュ関東㈱

マックスバリュ長野㈱

マックスバリュ北陸㈱

マックスバリュ南東北㈱

㈱マルエツ

ヘルス&ウェルネス事業

ウエルシアホールディングス株

㈱イオンボディ

イオンレーヴコスメ㈱

ウエルシア薬局㈱

金光薬品㈱

㈱クスリのマルエ

コスメーム㈱

シミズ薬品㈱

㈱丸大サクラサ薬局

㈱よどや

㈱ MASAYA

総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス株

AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.

AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD

AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.

イオン・アリアンツ生命保険㈱

㈱イオン銀行

イオンクレジットサービス㈱

イオン住宅ローンサービス㈱

イオンプロダクトファイナンス㈱

イオン保険サービス㈱

イオン・リートマネジメント㈱

フェリカポケットマーケティング㈱

AFSコーポレーション㈱

AEON Financial Service (Hong Kong) Co., Ltd.

ディベロッパー事業

イオンモール株

イオンタウン㈱

㈱ OPA

サービス・専門店事業

イオンディライト㈱

株イオンファンタジー

株コックス

株ジーフット

アクティア㈱

㈱イオンイーハート

イオンエンターテイメント㈱

イオンカルチャー㈱

イオンコンパス㈱

イオンベット㈱

イオンライフ㈱

ブランシェス㈱

㈱プレスデージーシューズ

㈱未来屋書店

㈱メガススポーツ

メガベトロ㈱

リフォームスタジオ㈱

R.O.U. ㈱

国際事業

【中国】

AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited

AEON (CHINA) CO., LTD.

AEON EAST CHINA (SUZHOU) CO., LTD.

AEON (HUBEI) CO., LTD.

AEON South China Co., Limited

BEIJING AEON CO., LTD.

GUANGDONG AEON TEEM CO., LTD.

QINGDAO AEON DONGTAI CO., LTD.

【ASEAN】

AEON CO. (M) BHD.

AEON BIG (M) SDN. BHD.

AEON (CAMBODIA) Co., Ltd.

AEON ORANGE COMPANY LIMITED

AEON (Thailand) CO., LTD.

AEON VIETNAM CO., LTD.

DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT

CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED

PT.AEON INDONESIA

機能会社・その他

アビリティーズジャスコ㈱

イオンアイビス㈱

イオンアグリ創造㈱

イオン・シグナス・スポーツ・ユナイテッド㈱

イオン・スマートデクノロジー㈱

イオントップバリュ㈱

イオンドットコム㈱

イオンネクスト準備㈱

イオンフードサプライ㈱

イオンマーケティング㈱

コルドンヴェール㈱

㈱生活品質科学研究所

Aeon Digital Management Center

AEON TOPVALU (CHINA) CO., LTD.

AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED

AEON TOPVALU (MALAYSIA) SDN. BHD.

AEON TOPVALU (THAILAND) CO., LTD.

AEON TOPVALU VIETNAM COMPANY LIMITED

Tasmania Feedlot Pty. Ltd.

■ (公財)イオンワンパーセントクラブ

■ (公財)イオン環境財団

■ (公財)岡田文化財団

■ (公財)イオン環境財団

太字は株式公開会社 (2021年2月末時点)



イオン北海道株式会社



木を植えています

私たちはイオンです



イオン北海道株式会社 会社案内

Corporate Profile
2021

イオン北海道株式会社

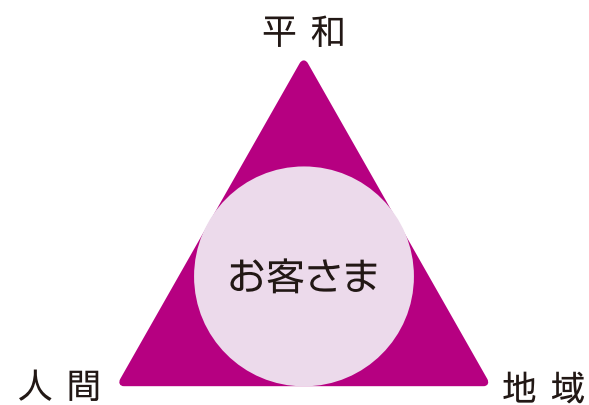
本社 〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1番10号 TEL 011-865-4120(代表)

http://www.aeon-hokkaido.jp



イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、
人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン（**ÆON**）とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。
私たちの理念の中心は「お客さま」。
イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、
最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。
「人間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。
「地域」：イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、
絶えず革新し続ける企業集団として
「お客さま第一」を実践してまいります。

北海道のヘルス&ウェルネスを支える企業として
これからもずっと、お客さまの「健康」で「楽しい」
豊かな毎日をお手伝いします

平素より当事業へのご支援、店舗のご愛顧、心よりお礼申し上げます。
当社は、2020年3月に同じイオングループのマックスバリュ北海道株式会社と経営統合し、多様な小売業態を擁する、道内小売業では最大規模の企業となりました。既存事業である大型のショッピングセンターや総合スーパー、小型スーパーやインターネットショップに、新たに食品スーパーと食品ディスカウントストアが加わりました。この多様な店舗網と商品・サービスで、北海道のお客さまの様々なお買物ニーズにこれまで以上にきめ細かくお応えする体制が整いました。
新生イオン北海道の初年度である2020年度は、新会社としてスタートダッシュを図るべき年度でありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を通年で大きく受けることになりました。その中でも当社は、早期に強固な防疫体制を構築し、新しい生活様式に対応した商品を揃え、店舗の営業を継続することで、地域の暮らしを支え、守り続けることができました。これは、お客さま、お取引先さま、従業員をはじめ、すべてのステークホルダーの皆さまの多大なご支援の賜物によるものです。ここで改めて皆さまに心よりお礼申し上げます。

経営統合の大きな目的の一つに「強い食」の実現があります。外出自粛による内食需要の拡大により、毎日の暮らしに欠かせない「食」の

重要性がますます高まっています。当社は、これまで培って来た地域との絆による生鮮産地連携の強化や、地域に根ざした独自商品の開発など、北海道のイオンだからこそできる商品戦略を推進し、「安全・安心」と「おいしさ」に徹底的にこだわり、地域一番の「食」を目指します。また、北海道の地域ごと、季節ごとの暮らしや、大切な社会催事やライフイベントのニーズには、食品に加え、地域特性に合わせた衣料品や暮らしの品々、様々な専門店の商品やサービスで、隅々までお応えしてまいります。
日々ご利用いただく店舗は、より安全・安心で便利な場所に進化させます。防疫体制のさらなる強化はもちろんのこと、セルフレジやお買物アプリ、インターネットショップとの連携など、デジタル技術を活用しながら、その利便性を追求します。また、当社の店舗はお買物だけでなく、地域に必要な様々な機能の充実や、お客さまとともにすすめる環境・社会貢献活動などにより、地域の皆さまが集い、様々な出会いや体験を通じて健康な毎日を楽しむ場所にしていきたいと思います。「イオンのあるまちに住みたい!」、そう言っていたけように、商品と店舗の価値をさらに高めてまいります。

小売業を取り巻く環境変化はますます加速しています。その変化に迅速に対応し、地域の暮らしを支え、地域とともに成長するべく、経営ビジョンである「北海道のヘルス&ウェルネスを支える企業」として、これからもずっと、お客さまの「健康」で「楽しい」、豊かな毎日をお手伝いしてまいります。引き続き変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。



2021年5月
イオン北海道株式会社
代表取締役社長
青柳 英樹



イオン北海道 中期経営計画(2021-2025)

環境変化に迅速に対応し、さらなる成長に向け、2021年度より新中期5ヵ年経営計画をスタートしました。

経営 ビジョン

“北海道のヘルス&ウェルネスを支える企業”になる。

お客さまの「健康」で「楽しい」、豊かな毎日をお手伝いします。

新たな地域共生のカタチをつくります。

従業員が最大の資産です。

透明で持続性と安定性のある経営を実践します。

2025年のありたい姿 「食」を基軸に、便利で楽しく、健康な毎日の暮らしをお手伝いする

イオン北海道独自の魅力的な商品

- 地域一番の「食」
 - ・安全・安心、鮮度、おいしさ、バリューを追求した食品
 - ・経営統合やイオングループ連携によるスケールメリットとシナジーの最大化による、高い競争力とお客さま還元
 - ・産地連携による地場生鮮商品の取り扱い
 - ・自社開発・製造のオリジナル商品の品揃え
 - ・自社北海道ブランド商品の全国拡販
- 北海道の暮らしに合わせた衣・住・サービス
 - ・専門店レベルの品揃え(靴、フラワー&ガーデン、サイクルほか)
 - ・地域・店舗・規模に合わせた商品と売場構成
 - ・暮らしをサポートするさまざまなサービスの提供

安全・安心、便利で楽しい店

- 地域一番の「店」
 - ・様々なお買物ニーズにお応えする多様な業態と店舗網
 - ・実店舗とシームレスにつながる便利なEコマース
 - ・徹底した防疫・防災体制
 - ・ストレスフリーなお買物環境
 - ・SC・GMSのワンストップショッピング
 - ・日々のヘルス&ウェルネスサポート
- イオン生活圏づくり
 - ・地域になくてはならない売場・機能の集約
 - ・地域の集いの場・交流拠点の役割を果たす店(地元テナント、行政サービス等)

成長を支える 強固な事業基盤

- 顧客
 - ・キャッシュレス
 - ・スマホアプリ
 - ・One to Oneマーケティング
- インフラ
 - ・基幹システム
 - ・物流センター
 - ・プロセスセンター
 - ・デジタル化
- 人事
 - ・ダイバーシティ
 - ・専門人材
 - ・働き方改革
 - ・人時生産性
- 収益性
 - ・店舗活性化
 - ・適正コスト
- 地域連携
 - ・社会貢献活動
 - ・SDGs
 - ・防疫・防災

4つの 方針

北海道のヘルス&ウェルネスを支える企業として、4つの方針に沿って各施策をすすめています。

数値 計画

2025年度直営売上高3,800億円、地域ナンバーワンの小売業を目指しています。

商品と店舗の付加価値向上
地域一番の商品力、地域一番の便利な店を実現します。

顧客化の推進
データ活用により、一人ひとりのお客さまに最適な商品とサービスを提供し、強い絆を結びます。

地域との連携
地域とともに地域課題の解決に取り組み、地域とともに成長します。

収益構造の改革
収益構造改革に取り組み、強固な経営基盤をつくります。

数値 計画

	2020年度実績	2025年度計画
直営売上高	3,199億円	3,800億円
(内)食品売上高	2,504億円	3,000億円
営業利益	93億円	157億円
ROE	10.7%	10%以上

投資 計画

	5ヵ年累計
店舗投資	590億円
インフラ投資	135億円
投資計	725億円

コーポレートガバナンスについての考え方

イオン北海道はイオングループの一員として、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念を共有し、すべての企業活動の指針としています。そして、地域に根ざした北海道を愛する企業として、「北海道でNo.1の信頼される企業」の実現を目指し、北海道に貢献していくことが使命であると考えています。当社はこのビジョンの実現に向けて、企業統治体制を整えるべく、2016年6月「コーポレートガバナンス基本方針」を制定いたしました。

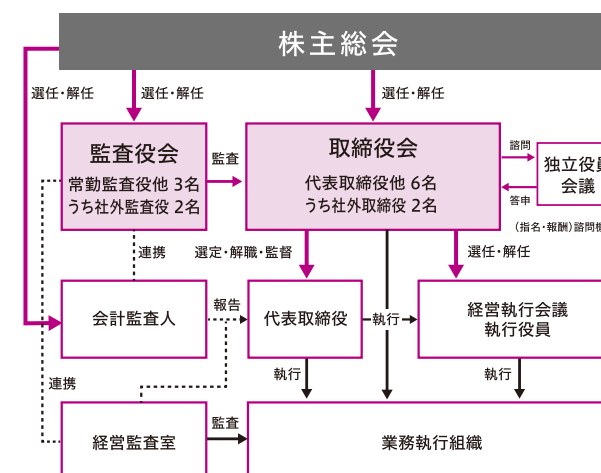
コーポレートガバナンスにおける基本姿勢

1. お客さま原点、現場主義による価値創造
2. 最大の経営資源である人間の尊重
3. 北海道とともに発展する姿勢
4. 長期的な視野と絶えざる革新に基づく持続的な成長
5. 透明性があり、規律ある経営の追求

企業統治体制

イオン北海道は、透明かつ持続性と安定性を持った経営を実践するための企業統治体制として、監査役会設置会社を選択しています。また、経営の意思決定と監督機関としての「取締役会」と、その意思決定に基づく業務執行体制として執行役員等で構成される「経営執行会議」を設け、執行役員等の職務執行の監督機関として、「監査役会」を設置しております。さらに、経営の透明性と客観性を担保するため、2017年より独立社外取締役2名以上を含めた「独立役員会議」を設置しています。

■コーポレートガバナンス模式図



模式図以外の組織 コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会は、代表取締役をはじめとするすべての取締役および執行役員が責任を持ってリスク管理を行うために、代表取締役直下に配置されている委員会です。事業横断的な統治体制により、法令等の順守・違反を防ぐ審議だけでなく、多様なリスク・危機を未然に予知・回避することなどについて議論を行っています。

イオン北海道は上記体制のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、実効的かつ最良のコーポレートガバナンスの実現を目指してまいります。



当社のSDGsの取り組み

SDGsは、「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、2015年9月、国連サミットで採択されました。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。当社は商品開発から製造、販売まで行う総合小売業として、「電気使用量抑制によるCO2削減」「プラスチック削減」「食品廃棄物削減」の3つを中期経営計画で重点課題として目標を設定しました。また、地域に根ざした企業として地産地消の推進や、植樹活動、募金活動などの社会貢献活動を継続して実施し、サステナブル経営を推進してまいります。



SDGs重点取り組み

3項目について、2025年の目標を設定し、削減を目指します。

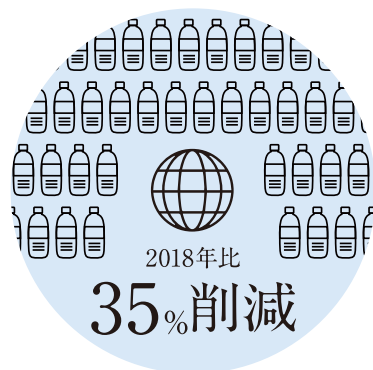
CO2排出削減



約89,000人分の
年間排出量

冷凍・冷蔵ケースの入れ替えと削減を進めます。LED 照明への変更を積極的に行います。また、節電チェックリストを活用します。

プラスチック削減



500mlのペットボトル
約2,400万本

レジ袋の削減や店舗での資源回収を継続して進めています。また、資源の再商品化やエコトレーへの切り替えをさらに強化します。

食品廃棄物の削減



売上高100万円当り
9.3kg減

発注計画の精度向上に取り組みます。鮮度保持の機器を積極的に導入します。また、PB 商品の期限表記は月単位に変更します。

SDGsの取り組みの一例



フェアトレード商品、MSC、ASC、FSC認証商品※1の取り扱い



ディーセント・ワーク※2の実現



募金活動

※1
MSC:魚を獲りすぎない、海の生態系を壊さないなど、資源や環境に配慮し適切に管理された漁業で獲られた証 ASC:水質、環境を汚染しない、抗生物質などを過剰投与しないなど、資源や社会に配慮し適切に管理された養殖業漁業で育てられた証
FSC:適切に管理された森から生産された木材や紙製品の証
※2
ディーセント・ワーク:権利が保護され、十分な収入を生み、適切な社会保障が供与された生産的仕事

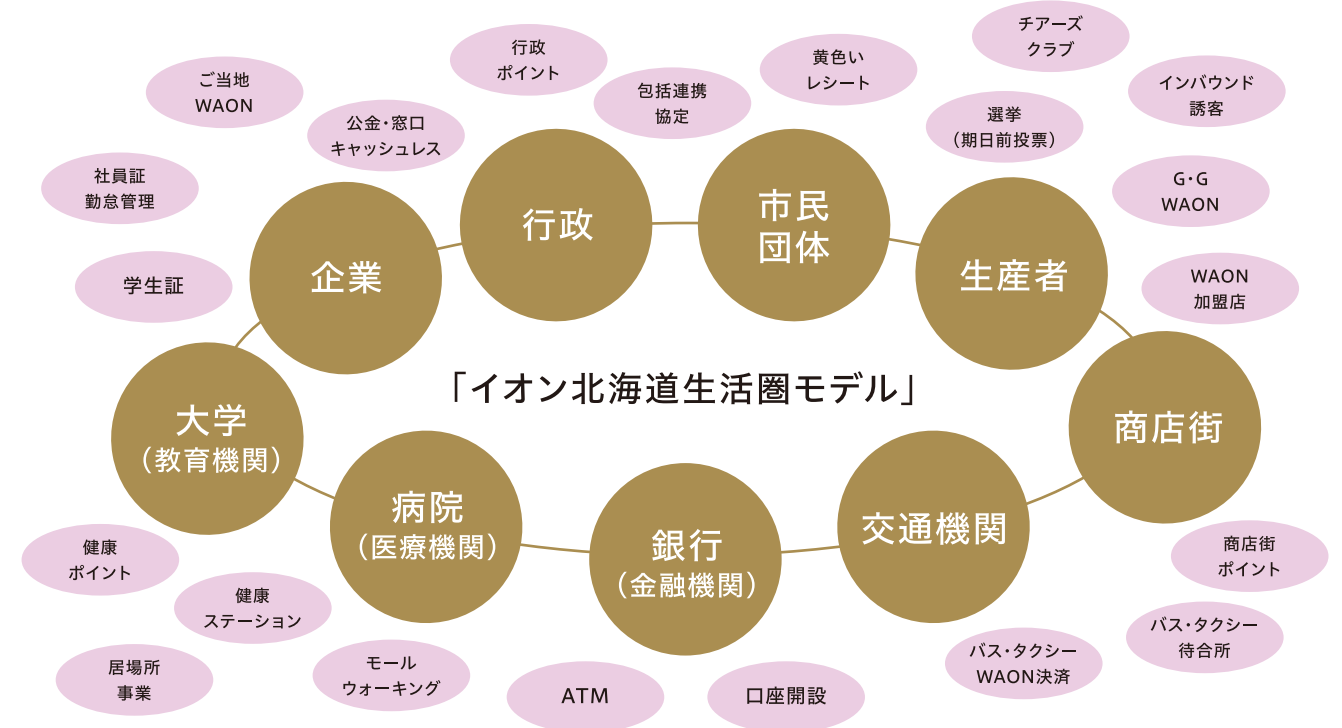
地域の未来を育てることも 私たちの仕事です。



イオン北海道はこれまで、道内自治体との「包括連携協定」や「環境・社会貢献活動」を通じ、地域の皆さまとの連携を深めてまいりました。当社は今後、地域の皆さまとの連携をさらに強化し、地域とともに成長する仕組み「イオン北海道生活圏モデル」を推進してまいります。

「イオン北海道生活圏モデル」

イオン北海道は、これまで取り組んできた「地域エコシステム」をさらに進化させ、地域とともに成長するための仕組みづくり“イオン生活圏モデル”を推進していきます。イオン生活圏モデルは、自治体や商店街、企業など地域の皆さまとともに、「ご当地WAON」をはじめとしたイオンのプラットフォームを活用し、地域のさらなる発展を目指す取り組みです。店舗は地域のニーズや業態に合わせ、物販だけでなく、暮らしの様々な機能を追加し、人と人が行きかう場所としていきます。



「包括連携協定」と 「ご当地WAON」

イオン北海道では、地域の一層の活性化、および市民サービスの向上を図るため、北海道をはじめとした道内の自治体と「包括連携協定」を締結しています。そして、協定を締結した一部の自治体などに、お客さまがご利用いただいた金額の一部をイオンが寄付させていただき、地域経済の活性化や観光・文化芸術振興などに役立ていただく電子マネー「ご当地WAON」を発行しており、2011年度から2020年度までの累計寄付金額は、1億9,805万4,795円です。



その他のさまざまな
取り組みはこちらから



ダイバーシティ



結婚や出産、介護など、どのようなライフイベントの際にも、一人ひとりが自分らしく活躍できる制度や職場環境があります。



イオン北海道のダイバーシティ経営

イオン北海道がダイバーシティ経営を推進する目的。それは、「イオンがAEON（ラテン語で永遠という意味）であり続けるため」です。当社が持続的に成長し続けられる企業であるためには、お客さまの変化に対応して常に変化し、過去の成功体験にとらわれずに新たな発

想をカタチにすることで「お客さま第一」を実現し続けなければならないと考えています。そのために、すべての従業員が自分の持てる能力を最大限に発揮でき、これまで以上にやりがいをもって働ける会社の実現に向けて取り組んでいます。

「えるぼし」「くるみん」の認定と「イクボス企業同盟」への加盟

当社では2016年7月に、女性活躍推進に関する取り組みを認める「えるぼし」の最高位の認定マークを取得しました。「えるぼし」は、5つの評価基準（採用、継続就業、労働時間等の働き方、管理職比率、多様なキャリアコース）のうち、認定基準を満たす項目数に応じて厚生労働大臣が3段階で認定する制度で、当社が取得したのは最高位である3段階目の認定です。また、2017年12月には「子育てサポート企業」に認定され、厚生労働大臣の次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。

この他、2016年8月には、積極的に管理職の意識改革を行い、新しい時代の理想の上司（イクボス）を育てていくことを目指す企業ネットワーク「イクボス企業同盟」に加盟しています。



人事・教育制度



イオン北海道は、キャリアコース選択制度やライフスタイル制度など、従業員を大切にするさまざまな制度や、長期休日制度をはじめとする充実した福利厚生制度、革新力やチャレンジ精神の醸成につながる資格・報酬制度など、能力を発揮しながらやりがいを持って働ける環境を整えています。

キャリアコース選択制度

キャリアコース選択制度は、従業員自身が、自らのライフスタイルに合わせて勤務する地域区分を選択できる制度です。全道転勤のある社員Rと、エリア限定の社員Lの2つの区分があり、ライフスタイルに合わせて働き方を選択することができます。
※区分変更は年に1回変更可能。

項目	社員R (Regional)	社員L (Local)
勤務地	全道転勤	エリア転勤
資格	E・D・L・T職	D・L・T職
年間所定労働時間	1920時間	
年間休日	105日・長期休日20日	
定年退職	満65歳	

ライフスタイル制度

従業員一人ひとりが自らのライフスタイルに合わせて働き方を選択できる環境を整備するために、5つの制度を導入し、「ずっと働き続けられる職場」を目指します。

1 転居停止制度

会社が認める事情で一時的に転勤ができなくなった場合に申請できる制度。

2 ペア転勤制度

夫婦同居を前提に転居を伴う人事異動が可能な場合、一緒に転勤することを申請できる制度。

3 育児・介護勤務制度

仕事と育児・介護を両立しながら働き続けられるように、勤務時間帯や時間短縮など、働く時間を本人が選択・申請できる制度。

4 国内留学休職制度

専門的知識をより集中的に習得できる機会を提供するための休職制度。

5 リ・エントリー制度

諸事情により、各種制度を活用しても退職せざるをえない場合に、退職前に申請することで、退職する事由が解消したときに復職できる制度。

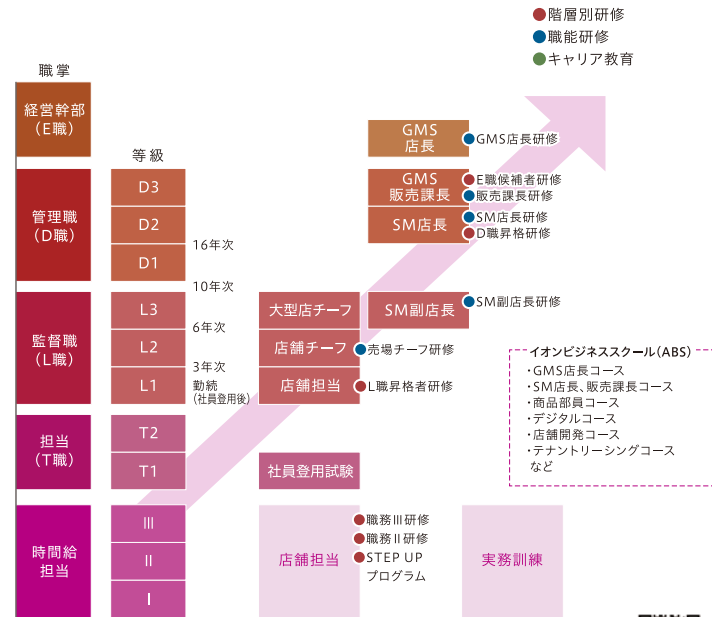
資格・報酬制度

資格（能力）の段階を4つの階層と12の資格等級に区分して設定しており、「どのレベルの仕事ができるか（＝資格）」と「現在どんな仕事を担当しているか（＝役割・役職）」の2つの要素で等級と報酬を決定します。評価および年1回の昇格試験にチャレンジすることで報酬アップが可能な制度です。

経営幹部 エグゼクティブ (E職) 経営を担う層	E1 E2 E3 E4	店長・部長・SC Mgr など
管理職 ディレクター (D職) 組織をマネジメントする層	D1 D2 D3	SM店長・課長・バイヤー Mgr・本社 Mgr など
監督職 リーダー (L職) 組織の業務を推進する層	L1 L2 L3	バイヤー・本社スタッフ・まいばすけっと店長・主任・新卒 (大卒) など
担当層 トレーニー (T職) 業務を習熟する層	T1 T2	新卒 (短大・専門・高卒)・担当など

教育制度

イオングループのコア人材を育成する「イオンビジネススクール (ABS)」をはじめ、各マネジメント職や商品部員への登用時に行う「新任研修」、昇格時に行う「登用研修」など、役割に応じて一人ひとりの成長をサポートする研修制度が充実しています。この他、お客さま満足の追求のため、販売・技術のレベルアップを図る社内資格認定制度が16種類あり、ベビーアドバイザーやサイクルアドバイザー、農産マスターといった検定を行っております。



あなたとつくる未来、あなたとつくる北海道

「週末にお父さんとお母さんにおねだりしてイオンのおもちゃ屋さんに行くのが楽しみだったな。がんばってお小遣いを貯めたこと、よく覚えてるよ」

「お買物の後、みんなでイオンのフードコートでおしゃべりしたことが学生時代の一番の思い出。あんなにしゃべることがよくあったな。私の青春時代の1ページです」

イオン北海道は衣食住のすべてで北海道を支える小売業です。
でも、私たちが売っているのは「商品」だけではありません。
「イオンに行ったら何か楽しいことがありそう!」という期待を提供しているのです。

「イオンのあるまちに住みたい!」と世界中の人たちに思ってもらえるように。
イオン北海道は進化を続けていきたいと考えています。あなたと一緒に。



2002年新卒採用 イオン札幌琴似店 紳士販売主任 小松原 昌子 Komatsubara Masako

女性も不安なく、長く働くことができる会社です。

産休・育休制度などの福利厚生や、入社後の教育制度などがしっかり整っていて、女性にとっても不安なく働くことができる会社だと思えます。結婚しても、子どもを産んでも、意欲さえあれば長く働き続けられる環境が、仕事と家庭の両立を支えてくれていると感じています。

1997年新卒採用 マックスバリュ新発寒店 店長 安藤 悠徳 Andou Michinori

努力次第で、キャリアアップの道が開けます。

イオングループには、従業員一人ひとりをきちんと評価する企業文化があり、努力は必ず評価してくれます。また、教育制度が整っており、キャリアアップのチャンスがたくさんあるところも魅力です。私自身も異動のたびに任されるお店の規模が大きくなっていて、やりがいが増しています。



2020年新卒採用 マックスバリュ 手宮店 デリカ担当 高橋 亜美里 Takahashi Amiri

自分から積極的に動いて挑戦してみてください。

職場では、上司になんでも相談しやすい雰囲気があります。やってみたいと思うことも、アドバイスをいただいたり、任せてもらえることが多いので、それがモチベーションになっています。自分から積極的に動くことで成長できるので、何事にも恐れずに挑戦してみてください。



2006年新卒採用 本社 食品商品開発部 デイリーバイヤー 中村 峰歌 Nakamura Mika

何事にも挑戦する人を後押ししてくれる会社です。

昨年春から新設された食品商品開発部で、バイヤーとして働いています。「あの商品が欲しいからイオンのお店に行こう」、そう思ってもらえる商品を開発していくのが目標です。イオン北海道は、キャリアプランやライフプランを描きながら、さまざまな可能性を広げられる会社です。

2004年新卒採用 本社 食品商品部 畜産バイヤー 三浦 貴之 Miura Takayuki

目指していることを実現できる環境です。

入社以来担当している畜産部門で、目指していたバイヤーになることができました。自分のアイデアが商品になり売場に並びます。売れなかったときは正直、辛いですが、結果が数字に表れるのでとてもやりがいを感じます。さらに商品知識を深め、色々チャレンジしていきたいです。



2020年社員登用 マックスバリュ マルヤマクラス店 フラワー&ガーデン担当 西川 真央 Nishikawa Mao

やりたいことにチャレンジできる環境があります。

イオン北海道には、充実した研修・資格制度があるので、自分が知らなかった分野でも専門的な知識や技術を基礎からしっかり学ぶことができます。色々な選択肢がある中で、自分のやりたいことを見つけ、それにチャレンジできる環境が整っているのが魅力です。

2009年新卒採用 本社 営業本部 生活圏デザイングループ マネージャー 栗原 泰弘 Kurihara Yasuhiro

多彩な人材が同じ想いで取り組んでいます。

イオン北海道には統合、出向などから多彩な人材がいて、多様な考え方がいい意味でミックスされ、日々刺激し合える雰囲気があります。そして、みんな小売業やショッピングセンターが好き、イオンが好き、北海道が好きなので、何事にも想いを同じにして、力を合わせて取り組める会社です。



2020年中途採用 本社 営業企画部 デジタルマーケティング 佐竹 可威人 Satake Kaito

枠を超えて意見が言い合える職場です。

転職した入社初日から、上司から声をかけていただいたりして、とてもとけ込みやすい雰囲気でした。業務に関しても担当や部署の枠を超えて、お互いの業務に関心を持って、相互に意見やアドバイスを言い合える職場なので、とても働きやすいです。ぜひ一緒にチャレンジしましょう!

地域の皆さまとともに 環境・社会貢献活動を推進しています。



子どもたちの学習・体験をサポート

イオン チアーズクラブ

小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちを対象に、環境・社会に関する学びや体験の場を提供する「イオン チアーズクラブ」。イオン各店舗の近隣に住む子どもたちが月に1回程度集まり、店舗の従業員（コーディネーター）のサポートのもと、「環境」や「社会」に関する様々な活動に取り組んでいます。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合体験学習が難しい状況を踏まえ、ご自宅でもできる環境学習「おうちでチアーズ」を新たにスタートしました。現在、「イオン」「イオンスーパーセンター」38店舗で運営しており、2021年4月末時点でメンバーは約320名となっています。



地域のボランティア団体を応援

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の「イオン・デー」に、お客さまにお渡しする黄色いレシートを地域のボランティア団体名や活動内容が書かれた店内備え付けのボックスに投函していただくことで、レシート合計金額の1%相当の品物を、イオンが各団体に寄贈する取り組みです。2020年度は、「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など126店舗で実施し、1,011団体に約2,942万円相当の品物を寄贈しており、2010年度からの累計贈呈金額は約3億112万円にのびます。



お客さまとともに、木を植えています

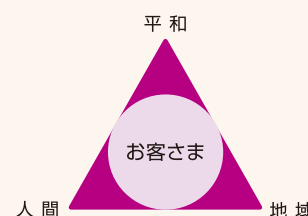
植樹活動

イオン北海道では2000年より、店舗がオープンする際に、敷地内にお客さまとともに木を植える「イオン ふるさとの森づくり」を行っています。これは「店舗が地域に根ざし、地域のコミュニティの場となること、さらには緑を育む心が世界に広がるように」との願いを込めたものです。また公益財団法人イオン環境財団は、自然災害などで荒廃した森を再生させることを目的に国内外で植樹活動を行っています。北海道では、知床や支笏湖、むかわ町や厚真町、南富良野町などで実施し、これまで392,749本の木を植えました。



イオングループ「環境理念」

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というグループ理念のもと、企業市民としての社会的責任を果たすため、社会貢献活動と環境保全活動を積極的に推進していきます。同時に私たちは、これらの活動が地域に根ざしたものであると認識し、地域の方々とのパートナーシップを育み、循環型社会の構築を目指します。



従業員数

19,112名
(うち正社員3,050名)
※2021年4月30日時点

店舗数

168店舗
※2021年4月30日時点

包括連携協定並びに
防災協定を結んでいる
道内自治体等

39団体
※2021年4月30日時点 (うち包括連携協定12協定)

女性役職者比率 (主任・チーフ以上)

27.3%
※2021年4月30日時点

育児休暇取得率 (女性)

100%
※2020年度

休日休暇取得実績 (社員平均)

年間 134日
※2020年度

道内累計 植樹本数

392,749本
※1995年からの累計

イオン 幸せの 黄色いレシート キャンペーン 寄付金額

約 2,942万円
2020年度
登録団体数 1,011団体

イオン チアーズクラブ メンバー数

約 320名
※2021年4月30日時点

店頭リサイクル 回収量※1

約 845t
※1 2020年度に回収したアルミ缶、食品トレイ、牛乳パック、ペットボトルの合計

CO2排出 削減量※2

約 4,281t
※2 換算には、環境省「3R行動見える化ツール」を使用

道内のご当地WAON による自治体等への 寄付金額

3,778万
1,307円
※2020年度実績

ほっかいどう遺産WAONの 累計寄付金額及び累計発行枚数

全国 1位
※2020年度までの累計なお、2020年度末時点で寄付スキームを持つ全国のご当地WAONの枚数は156種類

WAON 加盟店数

道内 11,200カ所
※2020年12月31日時点

地域の皆さまの日々の生活に寄りそう、
多様な業態の店舗を展開。



総合スーパー(GMS)「イオン」「イオンモール」

食料品や衣料品、暮らしの品など、さまざまな商品を取り扱う総合スーパー。「イオン」「イオンスーパーセンター」のほか、モール型ショッピングセンター「イオンモール」など、道内各地に40店舗を展開しています。



スーパーマーケット(SM)「マックスバリュ」

毎日の暮らしに欠かせない食料品や日用品を種類豊富に品揃えし、お値打ち価格でご提供するスーパーマーケット。「マックスバリュ」のほか、「フードセンター」や「いちまる」など、道内各地に67店舗を展開しています。



ディスカウントストア(DS)「ザ・ビッグ」

「買えば買うほど安さがわかる」をコンセプトに、厳選した商品をお買得価格でご提供するディスカウントストア「ザ・ビッグ」。道内各地に19店舗を展開しています。



小型スーパー「まいばすけっと」

コンビニほどの広さのお店に、生鮮品や加工食品、日用雑貨を品揃えしている小型スーパー「まいばすけっと」。「Just Small」をコンセプトに、地域の皆さまに身近にご利用いただける小さなお店として、札幌市内に41店舗を展開しています。



イオン北海道は、総合スーパー「イオン」やスーパーマーケット「マックスバリュ」、小型スーパー「まいばすけっと」など、地域に合わせた多様な業態の店舗を展開しています。

自転車専門店「イオンバイク」

自転車の販売や修理・メンテナンスなど、幅広い商品やサービスをご提供する自転車専門店「イオンバイク」。豊富な品揃えはもちろんのこと、公的資格と社内認定資格を取得したスタッフが安全・安心のサービスをご提供します。道内に5店舗を展開しています。



「ディベロッパー事業」

お客さまの多様なライフスタイルにお応えるため、ショッピングやエンターテインメントなど、バラエティ豊かな専門店を展開。現在、イオン北海道に出店している専門店の総数は約2,300店となります。



EC事業(インターネット販売事業)「ネットで楽宅便」「eショップ」

道内全域※へ配送可能なネットスーパー「ネットで楽宅便」は、食料品や日用品など、約24,000アイテムを取り揃えています。また、インターネットショップ「eショップ」では、季節に合わせて北海道の旬の味覚や特産品などをご提供しています。※離島を除く。



店舗情報

札幌・札幌近郊エリア 103店舗

- 「イオンモール」3店舗
札幌発寒、札幌苗穂、札幌平岡
- 「イオン」14店舗 ※SuCはイオンスーパーセンター、SCはショッピングセンター
札幌桑園SC、札幌西岡SC、札幌藻岩店、札幌麻生店、札幌栄町店、札幌元町SC、新さっぽろ店、東札幌店、札幌琴似店、SuC手稲山口店、SuC石狩緑苑台店、江別店、小樽店、余市店
- 「マックスバリュ」31店舗 ※EXはマックスバリュエクスプレス
平岸店、澄川店、EX中の島店、南15条店、月寒西店、マルヤマクラス店、北店、北1条東店、北26条店、北32条店、北40条店、EX新道店、光星店、元町店、新琴似店、琴似店、琴似3条店、EX発寒南駅前店、八軒5条店、新発寒店、菊水店、東札幌店、北郷店、北野店、厚別店、厚別東店、北広島店、上江別店、手宮店、俱知安店、共和店
- 「フードセンター」3店舗
月寒中央店、円山店、森林公園店
- 「ザ・ビッグ」10店舗 ※EXはザ・ビッグエクスプレス
西岡店、東雁来店、石山店、豊平店、EX栄町店、EX白石中央店、EX前田店、EXモエ店、EX平岸店、江別店
- 「まいばすけっと」41店舗
- 「イオンバイク平岡」

道北エリア 22店舗

- 「イオンモール」1店舗
旭川西
- 「イオン」8店舗 ※SuCはイオンスーパーセンター、SCはショッピングセンター
岩見沢店、SuC三笠店、滝川店、旭川永山店、旭川春光店、旭川駅前店、名寄SC、紋別店
- 「マックスバリュ」8店舗
栗山店、芦別店、滝川店、滝川本町店、赤平店、深川店、留萌店、名寄店
- 「ザ・ビッグ」5店舗
岩見沢店、宮前通店、緑が丘店、アモール店、士別店

道東エリア 17店舗

- 「イオンモール」1店舗
釧路昭和
- 「イオン」5店舗
帯広店、北見店、釧路店、厚岸店、根室店
- 「マックスバリュ」6店舗
イーストモール店、春駒通店、稲田店、西陵店、中札内店、池田店
- 「いちまる」1店舗
プラザいちまる清水店
- 「ザ・ビッグ」4店舗
文苑店、春採店、川北店、鳥取大通店

函館・函館近郊エリア 9店舗

- 「イオン」2店舗
上磯店、湯川店
- 「マックスバリュ」7店舗
八雲店、石川店、堀川店、深堀店、若松店、弁天店、万代店

道南エリア 17店舗

- 「イオンモール」1店舗
苫小牧
- 「イオン」5店舗
千歳店、登別店、室蘭店、伊達店、静内店
- 「マックスバリュ」11店舗
恵庭店、沼ノ端店、弥生店、新花園店、澄川町店、支笏湖通り店、登別店、室蘭東店、富川店、静内店、日新店

※誌面上の店舗数は2021年4月30日時点のものととなります。





店舗概要の一例

総合スーパー（GMS）



イオンモール札幌発寒
開 店 2006年4月
敷地面積 約70,500㎡
延床面積 約102,200㎡



イオンモール札幌平岡
開 店 2000年11月
敷地面積 約139,500㎡
延床面積 約78,400㎡



イオンモール札幌苗穂
開 店 2003年6月
敷地面積 約59,600㎡
延床面積 約66,600㎡



イオン札幌桑園ショッピングセンター
開 店 2002年10月
敷地面積 約25,800㎡
延床面積 約71,500㎡



イオン札幌元町ショッピングセンター
開 店 2002年6月
敷地面積 約37,600㎡
延床面積 約70,600㎡



イオン札幌西岡ショッピングセンター
開 店 2010年5月
敷地面積 約29,000㎡
延床面積 約29,800㎡



イオンスーパーセンター手稲山口店
開 店 2006年4月
敷地面積 約67,300㎡
延床面積 約19,100㎡



イオンモール苫小牧
開 店 2005年4月
敷地面積 約139,800㎡
延床面積 約71,300㎡



イオン千歳店
開 店 1978年11月
敷地面積 約40,200㎡
延床面積 約31,500㎡



イオン上磯店
開 店 1993年10月
敷地面積 約53,900㎡
延床面積 約29,200㎡



イオンモール旭川西
開 店 2004年4月
敷地面積 約98,000㎡
延床面積 約80,700㎡



イオン名寄ショッピングセンター
開 店 2008年4月
敷地面積 約65,300㎡
延床面積 約30,400㎡



イオン北見店
開 店 2000年9月
敷地面積 約67,000㎡
延床面積 約38,700㎡



イオン帯広店
開 店 1979年5月
敷地面積 約32,800㎡
延床面積 約41,900㎡



イオン釧路店
開 店 1987年12月
敷地面積 約94,400㎡
延床面積 約56,200㎡



イオンモール釧路昭和
開 店 2000年9月
敷地面積 約157,600㎡
延床面積 約51,800㎡

スーパーマーケット（SM）



マックスバリュ北1条東店
開 店 2018年8月
敷地面積 約5,500㎡
延床面積 約2,700㎡



マックスバリュ新発寒店
開 店 2017年10月
敷地面積 約25,700㎡
延床面積 約3,000㎡



マックスバリュ北40条店
開 店 2017年7月
敷地面積 約8,600㎡
延床面積 約3,000㎡



マックスバリュ滝川店
開 店 2007年11月
敷地面積 約78,200㎡
延床面積 約4,400㎡

ディスカウントストア（DS）



マックスバリュ日新店
開 店 2020年7月
敷地面積 約10,500㎡
延床面積 約2,800㎡



ザ・ビッグ東雁来店
開 店 2007年7月
敷地面積 約46,500㎡
延床面積 約3,300㎡



ザ・ビッグ緑が丘店
開 店 2017年11月
敷地面積 約9,100㎡
延床面積 約2,800㎡



ザ・ビッグ春採店
開 店 2003年10月
敷地面積 約26,500㎡
延床面積 約4,200㎡

※面積は駐車場等を含みます。

～イオン北海道の歩み 会社沿革～

イオン北海道の前身

1978年	4月	(株)北海道ニチイ設立
1980年	3月	(株)ホクホー設立
1992年	3月	(株)北海道ニチイ、(株)ホクホー2社の合併により、新生(株)北海道ニチイ発足
1996年	7月	(株)マイカル北海道へ社名変更
	9月	株式会社店頭登録
1998年	11月	東京証券取引所第二部、および札幌証券取引所に同時上場
2000年	2月	東京証券取引所第一部に指定
	9月	(株)室蘭ファミリーデパート、(株)根室ファミリーデパートと合併
2002年	1月	(株)ポスフルへ社名変更
	5月	店名をサティから「Posful(ポスフル)」へ変更
2003年	11月	イオン(株)と業務および資本提携
2007年	4月	イオン(株)とイオンの北海道総合小売事業を承継する会社分割契約を締結
	8月	イオン(株)に対して第三者割当増資を行い連結子会社化

「イオン北海道株式会社」誕生

イオン(株)のジャスコ11店舗を承継し、「イオン北海道株式会社」へ社名変更



前身のニチイ千歳店(現イオン千歳店)



静内サティ(現イオン静内店)

イオン北海道の基盤づくり

電子マネー「WAON」の導入や、「道産デー」、「火曜日」などのセールスをブランド化

2008年	4月	イオン北海道として初めての新店「イオン名寄ショッピングセンター」オープン
	12月	ネットスーパー「ネットで楽宅便」をジャスコ札幌桑園店(現イオン札幌桑園店)にて開始
2009年	4月	ISO14001を全社認証取得



イオン名寄ショッピングセンター

新たなチャレンジとさらなるお客さま満足の追及へ

地域特性に合わせたリニューアルで、魅力あふれるショッピングセンターへ。また、「まいばすけっと」や「イオンバイク」といった新たな業態にも挑戦。

2011年	3月	ポスフルおよびジャスコの店名を「イオン」へ変更
2012年	3月	「まいばすけっと」1号店の「まいばすけっと南5条西10丁目店」をオープン
2013年	3月	「イオンバイク」1号店の「イオンバイク北見店」をオープン
	4月	ネットスーパー「ネット楽宅便センター」をイオンスーパーセンター手稲山口店に開設



まいばすけっと1号店

事業規模を拡大、そして地域に愛されるお店へ

「旭川駅前店」のオープンや北海道のダイエー9店舗を承継し事業規模を拡大。地域や自治体と連携しながら北海道に根ざした店づくりを推進。

2015年	3月	イオンモール旭川駅前の核店舗として「イオン旭川駅前店」オープン
	7月	(株)ダイエーの北海道地域におけるGMS事業の会社分割(簡易吸収分割)による承継に関する吸収分割契約を締結
	9月	(株)ダイエーの9店舗を承継



イオン旭川駅前店

北海道の「ヘルス&ウェルネス」を支える企業へ

ショッピングセンターと一体となった店舗活性化により既存店舗の魅力を向上。マックスバリュ北海道との経営統合により、さらなるお客さま満足の実現へ

2018年	10月	イオン北海道(株)及びマックスバリュ北海道(株)の経営統合に向けた基本合意書を締結
-------	-----	---

2020年

新生「イオン北海道株式会社」誕生

マックスバリュ北海道と経営統合

		新生「イオン北海道(株)」としての1号店「ザ・ビッグアモール店」(旭川市)オープン
2021年	4月	2025年度までの新中期経営計画策定



リニューアルオープン時のイオン湯川店



開店時のザ・ビッグアモール店

2007年のイオン北海道誕生から、店舗数は30店舗から**168店舗**へ
従業員数は3,000名から**19,000名**へ

※2021年4月30日時点



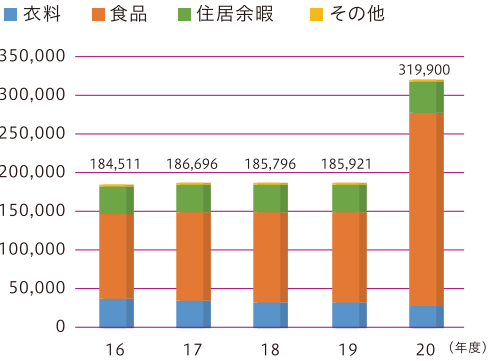
財務ハイライト

	2018年度 (2019年2月28日)	2019年度 (2020年2月29日)	2020年度※1 (2021年2月28日)
財務数値			
売上高	(百万円) 185,796	185,921	319,900
(内訳)			
衣料	(百万円) 33,336	32,938	26,831
食品	(百万円) 115,060	115,310	250,453
住居余暇	(百万円) 36,174	36,476	41,595
その他※	(百万円) 1,225	1,196	1,020
その他営業収入	(百万円) 18,437	18,590	18,557
営業収益	(百万円) 204,233	204,511	338,457
売上総利益	(百万円) 51,546	51,529	81,257
営業総利益	(百万円) 69,983	70,119	99,814
販売費および一般管理費	(百万円) 61,758	62,013	90,448
(内訳)			
人件費	(百万円) 25,861	26,031	41,584
販促費	(百万円) 4,027	4,020	4,948
販売費	(百万円) 4,619	4,570	6,809
設備費	(百万円) 22,505	22,322	30,024
一般費	(百万円) 4,744	5,066	7,082
営業利益	(百万円) 8,225	8,106	9,365
売上高営業利益率	(%) 4.4	4.4	2.9
経常利益	(百万円) 8,144	8,035	9,297
売上高経常利益率	(%) 4.4	4.3	2.9
当期純利益	(百万円) 3,979	3,873	5,852
売上高当期純利益率	(%) 2.1	2.1	1.8
総資産	(百万円) 101,140	106,942	144,264
有利子負債	(百万円) 14,189	14,174	17,782
有利子負債依存度	(%) 14.0	13.3	12.3
自己資本	(百万円) 44,855	47,567	61,671
純資産	(百万円) 44,976	47,671	61,873
営業活動によるキャッシュフロー	(百万円) 10,666	11,012	13,678
投資活動によるキャッシュフロー	(百万円) △11,437	△9,188	△7,046
財務活動によるキャッシュフロー	(百万円) 268	△1,282	△4,252
財務指標			
自己資本当期純利益率(ROE)	(%) 9.1	8.4	10.7
総資産経常利益率(ROA)	(%) 8.3	7.7	7.4
自己資本比率	(%) 44.3	44.5	42.7
配当性向	(%) 31.8	32.7	28.5
1株当たり情報			
1株当たり配当金	(円) 12.0	12.0	12.0
1株当たり当期純利益(EPS)	(円) 37.68	36.66	42.11
1株当たり純資産(BPS)	(円) 424.55	449.83	443.69

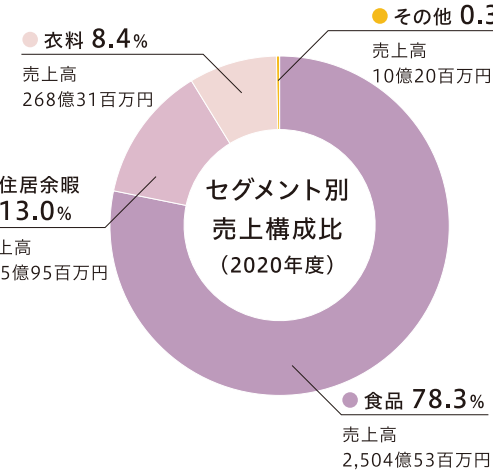
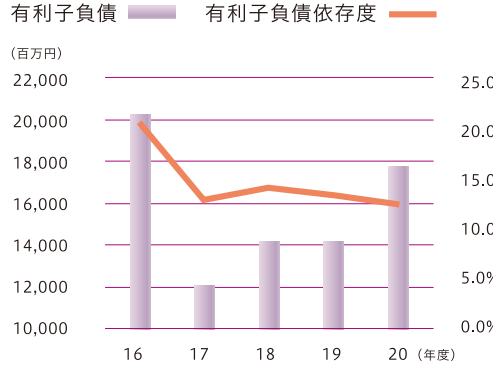
※「その他」には委託販売や学生服、ギフト券などが含まれます。



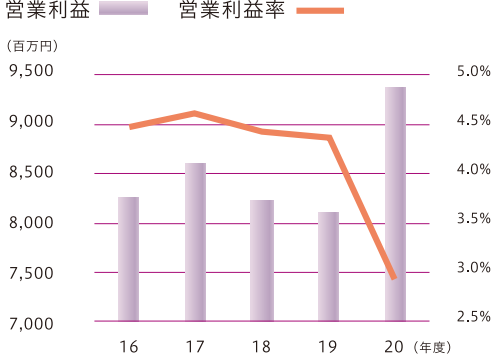
○セグメント別売上高



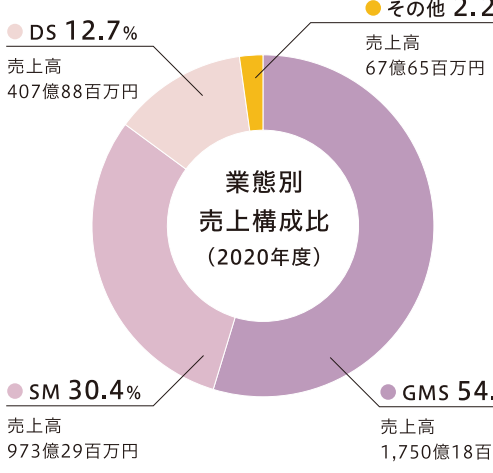
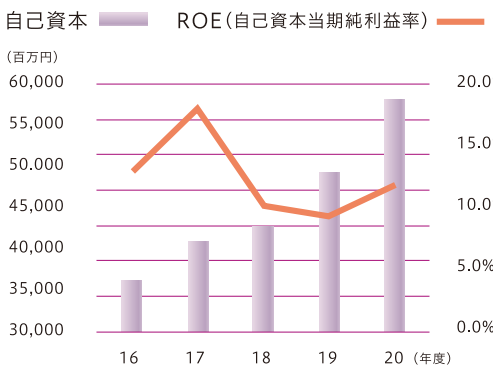
○有利子負債の状況



○営業利益、営業利益率



○自己資本の状況



会社概要

社名	イオン北海道株式会社	決算期	2月末日
本社	〒003-8630 札幌市白石区本通21丁目南1番10号	従業員数	19,112名(うち正社員3,050名)
事業内容	総合小売業	店舗数	168店舗(内訳:イオン37店舗、イオンスーパーセンター3店舗、マックスバリュ63店舗、ザ・ビッグ19店舗、フードセンター3店舗、いちまる1店舗、まいばすけっと41店舗、イオンバイク1店舗)
設立	1978年4月5日	主要取引銀行	北洋銀行、三井住友信託銀行、みずほ銀行、北海道信用農業協同組合連合会
資本金	61億43万円		
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部		
(証券コード:7512)	札幌証券取引所		

※従業員数、店舗数は2021年4月30日時点の数字です。

